

季刊

第36号
Spring

青葉の森から

2015年4月1日発行

みんなのギャラリー



親子でワクワク「森とあそぼう！」の軌跡

すっかり暖かくなり、気持ちよく歩くことができる季節になってきました。青葉の森でも野鳥たちのさえずりがひびき、可憐な花々が森を彩り始めました。皆さんが春の陽気に誘われてお散歩にいらっしゃるのを心待ちにしております。きっと、たくさんの出会いが待っていると思います。

でも、花粉症の方はマスクをお忘れなくご持参くださいね。私たちにも4月から新しい出会いがあることを願っています。



お世話になりました



半澤 夏実

青葉の森緑地には平成17年より勤務。
平成27年3月で退職

私が青葉の森に赴任してきたのは平成17年の4月、カタクリの花が咲き始めた頃でした。

最初の頃は街から車で15分という距離の立地でありながらニホンカモシカと出会ったり、ツキノワグマがつけた真新しい痕跡が見つかったりする懐の深い恵まれた自然の中で働ける毎日がとても嬉しかったです。でも、そんな恵まれた森林公園でありながら、市民からの認知度が低く利用者数が少ないことをとても残念に思う毎日でした。

どうしたら、市民の皆さんに足を運んでもらうことができるのだろう…家族でゆっくりと寛げる公園として利用してもらうにはどうしたら良いのだろう…と思いあぐねていたある日、来園したひとりのお母さんから「子どもを自然に親しませたいけれど、どのようにしたら良いのでしょうか?」という相談を受けました。

それがヒントになって始めた企画が、親子でワクワク「森とあそぼう!」でした。

回を重ねるにつれて自分で考え、自分で選ぶ、そんな当たり前のことが当たり前になっていない状況や、親子が抱える課題を目にして、子どもたちの自立とこれからのために私に何ができるだろう?という問いを持ちながら続けてきた企画です。

毎月1回の定例の催しとして開催するようになってから約10年が経ち、この3月で終了することになりました。

私にとってはなによりの思い出は、そこで知り合った小さな人たちの成長に寄り添い、お互いの存在を喜び、共有しあえる関係性を構築する機会を与えていただけたことです。

学びは、気持ちがあればいつでもどこでも得られるものだと思います。

青葉の森で皆さんとお会いする機会はなくなりますが、私にこの仕事を続けさせてくれた小さな人たちへの恩返しはこれからもずっと続けていきたいと思っています。

本当に、長い間有難うございました。

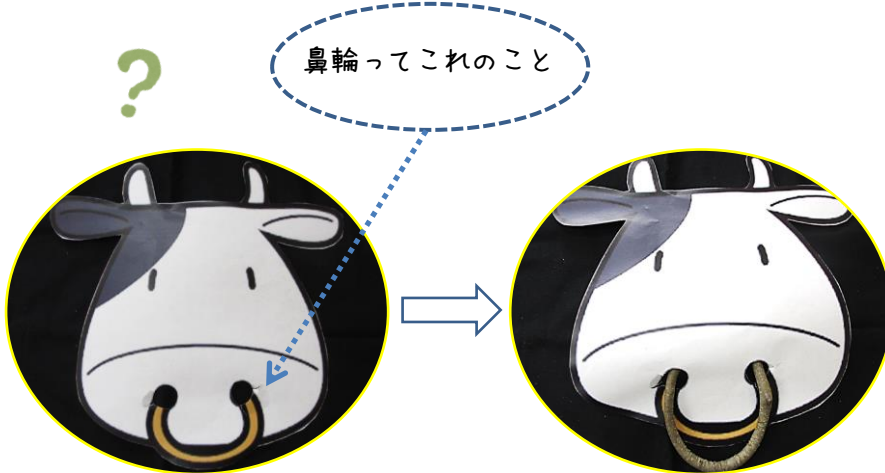
どこかであったら声をかけてくださいネ。



それって本当？

私が以前からおもしろいと思っていた木があります。それはカマツカ(鎌柄)です。何がおもしろいかと言いますと、枝を曲げてみるとよくしなるのです。先人たちはこの特性を上手に利用して、牛を引っ張るときに必ず使う鼻輪をカマツカの枝で作ったために「牛殺し」の別名もついたと言われています。

本当に鼻輪を作ることができるのか、実際に青葉の森緑地の中に生えているカマツカで試してみることになりました。



鼻輪ってこれのこと



カマツカの花
開花は5月頃

牛の絵に、カマツカの枝で作って鼻輪を通してみることになりました。

【カマツカ】

本当に鼻輪を作ることができました！とてもしなやかで、曲げる時にあまり抵抗を感じませんでした。

カマツカの周りに生えている他の木々でも鼻輪を作ることができるのか試してみました。どの枝も太さは5mm以上の大きさのものを使用しました。



【アオハダ】

曲げたらすぐにさけてしまいました。



【イヌツゲ】

あまり固くはないけれど、鼻輪にすることはできませんでした。



【イヌブナ】

けっこう固かったです。



【モミ】

あれっ？鼻輪ができちゃった……。

結果、やはりカマツカの枝がよくしなることが分かりました。カマツカは林のへりでよく見かけますので、日の当たる開けたところが好きなのだと思います。しかし、開けたところでは風をまともに受けてしまいます。私は、風にも負けず明るいところで生きていくために、しなやかで風を受け流せるようなカラダを手に入れたのではないかと考えています。

他にも同じような特徴を持つ樹木があるのでしょうか？知っている人はぜひ教えてくださいね。

今回は樹木を通して、先人たちがその特性をうまく利用して生活していたころに想いを廻らせることができました。(佐)



気持ちのよい青葉の森をめざして



今年の12月、地下鉄東西線の開業にともない、青葉の森も「青葉山駅」から徒歩15分程度でこられるようになります。より多くの市民のみなさんに利用していただけるよう、管理センターでは準備を始めています。

そのひとつが“カタクリの花園”計画。今までササが茂り薄暗かった林の中を下刈りして明るい環境を呼び戻し、将来はカタクリが咲き誇る市民の憩いの場にしようとしています。

さて、もうひとつ。来園されるみなさんが気にしていること。それはクマさんのことだと思います。「この森にクマはいませんよね？」という質問を多くの方からいただくのですが、もちろん、青葉の森を含む青葉山一帯には普通にツキノワグマが住んでいます。みなさんには、ぜひ、そのことを認識したうえで森を楽しんでいただきたいと思います。



先日、「クマを知り森を楽しむためのお話」と題した講話イベントを開催し、クマに出会ったときの対処法やクマに会わないようにするための方法を学びました。そのときの講師の方によると、大切なことはクマの発するサイン（うなり声、匂いなど）を見逃さないこと、声や音を出してクマに人間の存在を教えることが重要とのことでした。

青葉の森では、ご利用されるみなさんの不安を和らげるため、「クマ避け鈴」の貸出しを行っております。これに加えて、これからはツキノワグマが隠れる場所を減らし、クマと遭遇する機会自体を減らそうと計画しています。具体的には散策路沿いに生い茂ったササを刈り、林の中の見通しをよくしようと考えています。

ササを刈り取れば、クマが隠れる場所が少なくなるだけでなくカタクリやイカリソウなどの明るい林が大好きな植物が増えてくるでしょう。植物の種類が増えると、いろいろな昆虫も増えてくると思われます。もちろん、ウグイスやジャノメキョウなどのササやぶが好きな生き物のために、全部のササを刈り取ることはしません。ご安心下さい。

明るく安全で気持ちの良い森林公園を目指して、これからも整備していきますので、よろしくお願ひします。(千)

せせらぎ広場通行止め解除



「せせらぎ広場」斜面修復工事のため、今年1月から通行止めにしていただいていた散策路の一部が3月24日から通行できるようになりました。ご迷惑をおかけしました。

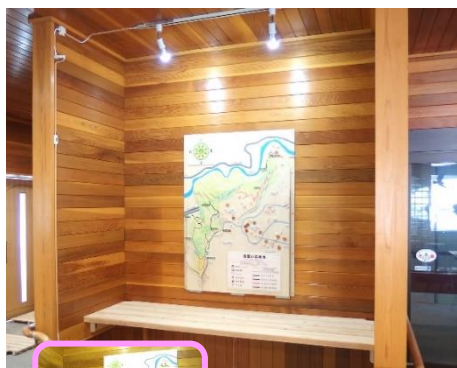
滑りやすい場所もありますので、十分に気をつけてご利用下さい。

青葉の森瓦版

立体マップができました！

園内の地形がわかる立体マップが約半年かかって完成。これから散策路の情報はこのマップを使ってご説明いたします。

😊マップの製作風景



少しずつ情報を増やして、より親しみやすいマップに育てていきますので、ぜひご利用下さい。



①実物サイズの原稿を作ります。



②等高線どおりに板を切り抜きます。



③切り抜いた板を並べたところ。



④それぞれの板を貼り合わせます。



⑤貼り合わせるとこのように立体に。



⑥貼り合わせたベースに散策路等を記入。



⑦表示を付けていきます。



⑧完成！

冬のイベント活動写真

もうすぐお彼岸「けずり花をつくらよう」 (仙台の伝統的な風物詩「けずり花」をつくりました。)



クマを知り森を楽しむ会 (回避法や対処法について経験豊かな講師から話を聞きました。)



親子でワクワク「森とあそぼう!」最終回 (8年間続いたイベントがついに最終回を迎えました。)



今後のイベントのお知らせ

New

親子で一緒に森あそび!

毎月第3土曜日(4/18、5/16、6/20)

対象/4歳以上の未就学児と保護者15名(先着)

親子で自然に親しみます。詳しくは市政だよりをご覧ください。

森のお花見「カタクリのみちを歩こう!」

日時:4月11日(土) 午前10時~午前11時半

内容:カタクリが一面に咲くスポットへご案内します。

対象:一般20名(先着)

持ち物:雨具、飲み物、寒くなく歩きやすい服装

大人の森歩き「軽やか花見鳥見」編

日時:4月25日(土) 午前10時~正午

内容:初夏の森をちょっとだけ知的にのんびり歩きます。

対象:一般 15名(先着)

持ち物:雨具、飲み物、寒くなく歩きやすい服装

団体利用のご案内

～ もっと青葉の森を楽しみませんか♪～

青葉の森のレンジャーが四季折々の自然をご案内します。少人数からお引き受けいたしますので、お友だち同士、サークル、地域のイベント等でご利用ください。

ご要望に応じて活動の内容は準備させていただきます。料金は無料です。お申込の際には参加される方々の年齢、人数等をお伝え下さい。

また、生活科、総合的な学習の時間などの自然体験学習に関する授業作りのご依頼も承っておりますので、お気軽にお問い合せください。

【 青葉の森管理センター 022-263-2101 】

これってなんだべ!?



ひものはしっこ?

寒さがゆるんで暖かくなってきた3月のある日、ふと水の中をのぞきこむと、ぐるぐる巻いてあるロープの端っこみたいなものがありました。持ち上げると枝などにくっついてます。



みずからだしてみたww



くろくてまるいつぶつぶが!

探すと他にも葉っぱの裏に隠れていくつもありました!
近づいて見てみると、ゼリーのような塊の中に黒くて丸いつぶつぶのものが入っています。(まるでみつ豆みたい...)
この黒豆みたいなものはサンショウウオの卵で、ゼリーは卵を守る“卵のう(らんのおう)”でした。卵のうはサンショウウオの種類によって特徴が違って、何のサンショウウオかがわかるみたいです。

卵からかえった姿は、カエルのオタマジャクシにそっくりですが、サンショウウオはエラが外に出ているけど、カエルは体の中にあるという違いがありました。(ウーパールーパーを知っている方はあんな感じですか?)
足の生え方も、サンショウウオは前足が先でカエルは後ろ足が先に生えるという違いがありました。(あれ!?歌と違うな~?)
秋頃にエラが消えて、大人とほぼ同じ姿になり陸に上がります。



たくさんのオタマジャクシ!



もうすぐおとなだよ!



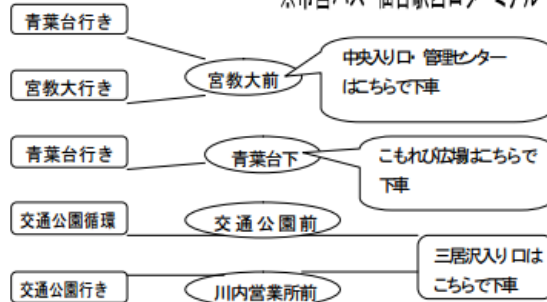
おかあさん?おとうさん?

卵から大人になれるのはほんのわずかです。その後4~5年かけて成長すると子どもを作れるようになるようですが、どうやって暮らしているのかは詳しくわかっていないそうです。
いつの日か戻って来るといいですね! (新)

青葉の森緑地 アクセス



※市営バス 仙台駅西口ターミナル



青葉の森 管理センター 開館時間：9：00～16：30

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）年末年始（12月28日～1月4日）

発行：（公財）仙台市公園緑地協会 企画・編集：仙台市青葉の森緑地 管理センター

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 260 Tel:022-263-2101 Fax:022-263-2102

ホームページ：<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/aobanomori/>

ブログ：<http://sendaishi-koenryokuti-kyokai.no-blog.jp/aobanomoriryokuchi/>